

2025 全日本 ARDF 競技大会 in 福井 盛大に開催



10月18日・19日の両日、第33回全日本ARDF競技大会を福井県丹生郡越前町にて開催いたしました。

当初は北陸地方・石川県での開催を予定しておりましたが、令和6年能登半島地震の影響により開催が困難となったため、今回が初めての福井県での開催となりました。

福井県内には「森林公園」と呼ばれるような広範囲の会場が少なく、開催地の選定には苦労しました。そこで、比較的大きな公園があり、里山の風情を残す越前町宮崎地区を大会会場として選定いたしました。



会場となった越前陶芸村周辺は、日本三大古窯のひとつとして知られ、周辺には多くの窯元が点在しています。山々に囲まれた静かな農村地帯ですが、地形は起伏に富み、尾根筋が入り組んだ複雑な地形となっています。このため、電波の伝わり方に変化が生じやすく、ARDF競技には最適な環境であることから、この地を選びました。



なお、クマの出没が懸念されたため、競技直前には安全対策として爆竹を鳴らすなどの対応を行いました。

大会には全国

各地から150名を超える選手が参加し、2日間にわたり、普段は静かな山里が大いに賑わいました。

【初日：10月18日（クラシック競技3.5MHz帯部門）】

土曜日午後から開催のクラシック競技3.5MHz帯部門は福鉄バスで参加の5人程の選手が無事到着されましたので、12時20分にラジオ体操をして追加項目の



注意だけ説明し予定通り12時30分に第1組の呼び出しになりました。

集合場所の「ほのぼの館」屋内から「INスタート」と「OUTスタート」に分かれて探査に出発しました。

OUTコースから出た学生さんと女子選手は自然にTX1に向かいます。INスタートから出るM20クラス以上の男性選手は谷間に設置したTX2に近い方向に向かうので山を挟んで左右2方向に分かれると想定したのですが、男性陣もほとんどがTX1の向かったようです。TX1をチェック後そのまま県道を南進してTX3に向かうのをルートと考えたのですが、灌漑池の向かい側林道をTX2に向かわれた



方も有るようで、この方々はTX3に谷間の給水所から坂道を上って行くルートになったようです。





谷間の中央付近に「給水所」を設置しました。利用いただいた方も多数いらしたようです。

会場選定の都合でこの通りが

「銀座通り」並みに混み合っていたのは申し訳なく思っています。

谷間の西端のTX4まで行くと北側の谷間からTX5の信号が強く聞こえ山中に向かわれたと思います。

この付近が人里から離れており熊の出没が心配で、設置に向かう担当者に何回か爆竹を鳴らしておいてもらいました。

TX5を取ってぐるっと廻って谷間に戻り最後に処理場横のTX2を通してゴールへ向かうのが想定したコースでした。

【2日目：10月19日(クラシック競技144MHz帯部門)】



開会式後スタート地点は700mほど南の「若竹荘」まで徒歩で移動します。

ただ朝にスタートの設置をしている姿をここに宿泊された学生さん達に見つかっていて、スタッフの先導が無くても先になってスタート地点に歩いて行ったようです。

この日も「INスタート」と「OUTスタート」に分かれてスタートするのですが、南のTX1に向かうOUTコースと北のTX3に向かうINコースに分けたつもりです。ところが今回もTX1に向かわれた方が多かったようです。

TX1とTX4は比較的開けた田園地帯の山裾に設置してあります。

TX4は少し高い位置でしたので信号も強く入って来たのではないでしょう。

ただこの道中ではTX2とTX5は山の向こう側になるので非常に弱かったのではないでしょう。

TX3は山を越える中央道路の峠付近に配置しましたので田園の道中でも比較的強く聞こえ、これに引かれてTX4の後は給水所のある峠道に向かいTX3を取る



のが想定したルートでした。

ところがTX4を取った後そのままエリア東端の谷間を北に向かった方がたくさんいて、TX5を取ってからTX3までの坂道を延々と上る方が多かったようです。



それでも給水所

は峠から見える位置でしたので寄っていただいたでしょう。

TX5から来た方は想定と逆に坂道を降りてTX2に向かわれゴールするのですが、TX3と給水所で時間不足になりそのままゴールした方も有ったかもしれません。



ウェアブルカメ

ラを持った方の映像では想定通りスタート方面からこの坂を登ってくる方もいましたがTX5とTX2を無事取れましたでしょうか。



TX2以降ゴールまで最後の坂道は辛かったのではないのでしょうか。

ゴール地点は2日間とも芝生広

場の似たような付近に設けましたが、友人のゴールを待って応援する方で賑わっていました。

審判長 森下 茂

【まとめ】

県内での練習会や北陸地区大会の開催経験はありましたが、今回のような全国大会規模での細やかな準備は、今後の運営においても大変貴重な経験となりました。

この大会で得た経験を、今後の支部活動の活性化につなげていきたいと考えております。

最後になりましたが、無事に大会を開催できましたのは、北陸HAMレディオスポーツのメンバーをはじめ、福井県支部の有志会員の皆さまなど、多くの方々のご支援・ご協力のおかげです。

会員数の多い県とは言えませんが、北陸3県の皆さまの温かいご支援をいただき、無事に大会を終えることができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

福井県支部長 小形 隆男

